

臨時株主総会

CHIグループ株式会社

2010年11月17日

【目次】

- CHIグループの設立について
- 出版流通市場環境と当社の課題
- 本日の議案について

CHIグループの設立について



CHIグループの設立

丸善とTRCが経営統合により
持株会社「CHIグループ株式会社」を

2010年2月1日設立

CHIグループ株式会社

丸善株式会社

TRC
株式会社図書館流通センター



CHIグループの経営理念

CHIグループ 経営理念

価値観：知は社会の礎である

小売が主体となった業界改革

電子書籍への対応

日本の知の生成と流通に貢献

出版流通市場環境と 当社の課題

市場環境と当社の課題

- ◆ 書籍・雑誌販売額は1996年以来減少を続け、2009年度は**2兆円を割る**
- ◆ リアル書店は店舗数だけでなく、**売場面積も減少**
- ◆ **グローバル企業**の電子書籍市場への参入



当社の課題

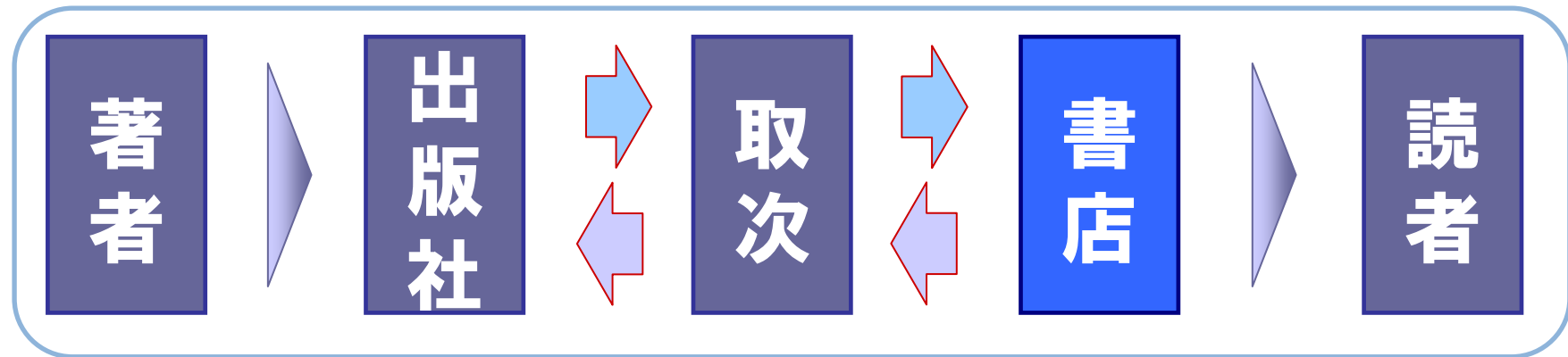
書店収益力の改善

電子書籍ビジネスへの取り組み

書店の収益力の改善

返品が自由な
委託販売

…これまでの商慣習



返品率40%

非効率な旧来の業界構造

書店の収益力の改善

返品が自由な
委託販売

…これまでの商慣習

書店もリスクを取りつつ
業界全体の収益構造を変革する必要

返品率40%

書店収益力の改善

- ◆ 書店発の企画による買い切りや、マーケティングに基づいた発注など、書店を起点とした返品率圧縮施策の実施
- ◆ 物流コスト、在庫処分コストの圧縮による業界収益改善原資の創出

書店からの改革には
書店が一定の規模を持つ必要

電子書籍ビジネスへの取り組み

◆ 2010年は電子書籍元年

◆ グーグル、アップルなどのグローバル企業が米国型モデルで日本に上陸

米国ではリアル書店をネット書店に、
紙の本を電子書籍に置き換えるモデルで攻勢

日本では日本の市場にマッチした
電子書籍ビジネスモデルが必要

電子書籍ビジネスへの取り組み

<米国>

リアル書店数

・9,700店

1書店当りの
カバー面積

・1,000平方km
(東京23区
621平方km)

1書店当りの
カバー人口

・32,000人

書店規模

・大型が多い

<日本>

・15,500店

・24平方km
(山手線内側
63平方km)

・8,200人

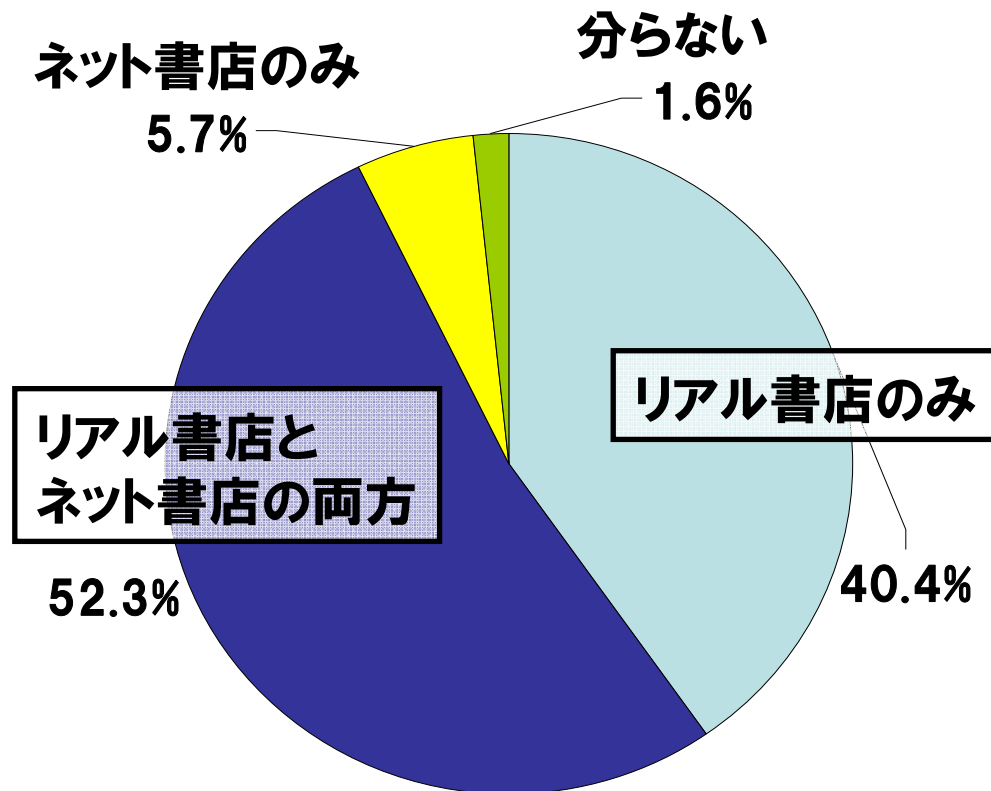
・小～大型まで
多様

米国:わざわざ車で出かける場所

日本:通勤・通学途中に立ち寄れる身近な存在

電子書籍ビジネスへの取り組み(アンケートから)

Q. 本を購入する際、リアル書店とネット書店のどちらを選択しますか？

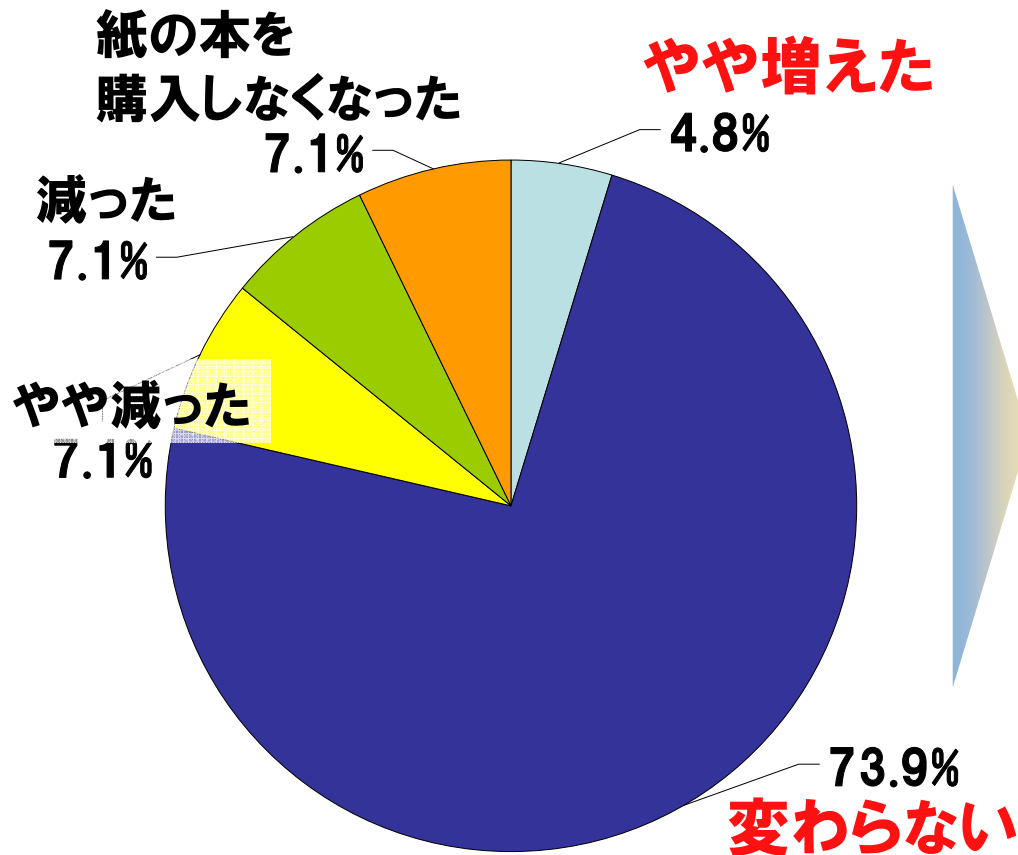


実際に日本のユーザーは、**リアル書店を必要としている**

リアル書店利用 → **92.7%**

電子書籍ビジネスへの取り組み(アンケートから)

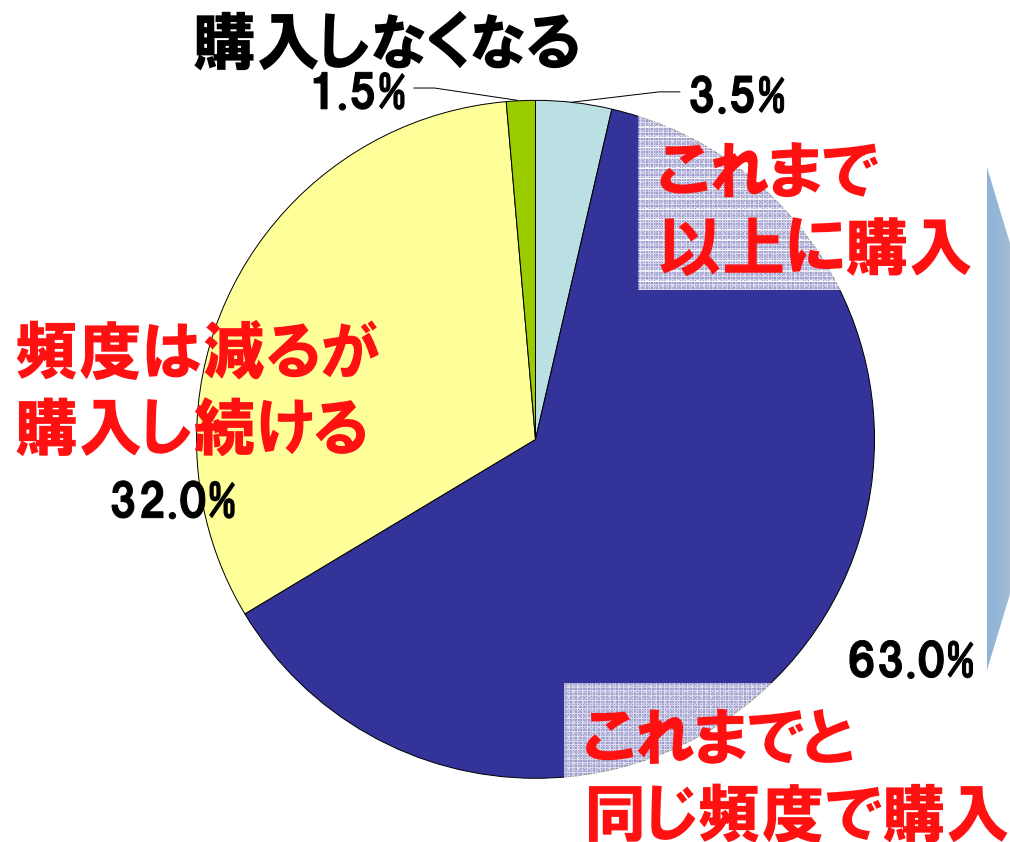
Q. 電子書籍を購入してから、紙の本を購入する頻度は変わったか？



電子書籍の購入後も
紙の本の購入頻度が
「やや増えた」
「変わらない」
= 約80%

電子書籍ビジネスへの取り組み(アンケートから)

Q. 今後電子書籍で読める本が増えたとしても、リアル書店での書籍購入を続けるか？



電子書籍の普及後も98.5%が「リアル書店を利用し続ける」

電子書籍ビジネスへの取り組み

日本では・・・

リアル書店が日常生活の中でとても身近な存在
読書スタイルもネットとリアル、電子と紙の本を併用

併存型のビジネスモデルを目指す

ハイブリッド型書店

電子書籍ビジネスへの取り組み

リアル書店でもネット書店でも



探せる/
出会える



CHIが目指すハイブリッド型書店



好きなかたちで
手に入れられる



紙の本も電子書籍も

電子書籍ビジネスへの取り組み



DNPグループ・docomoとの協力

<電子書籍>

DNP

NTT
docomo

ハイブリッド型書店実現のために

リアル書店にはIT化が必要



リアルとネットの購買情報を一元化

お勧めや新作情報をお客様ごとに
メール配信(Push型マーケティング)

来店促進

返品率削減にも寄与

電子書籍ビジネスへの取り組み

ハイブリッド型書店実現のために

全国規模のリアル書店網が不可欠

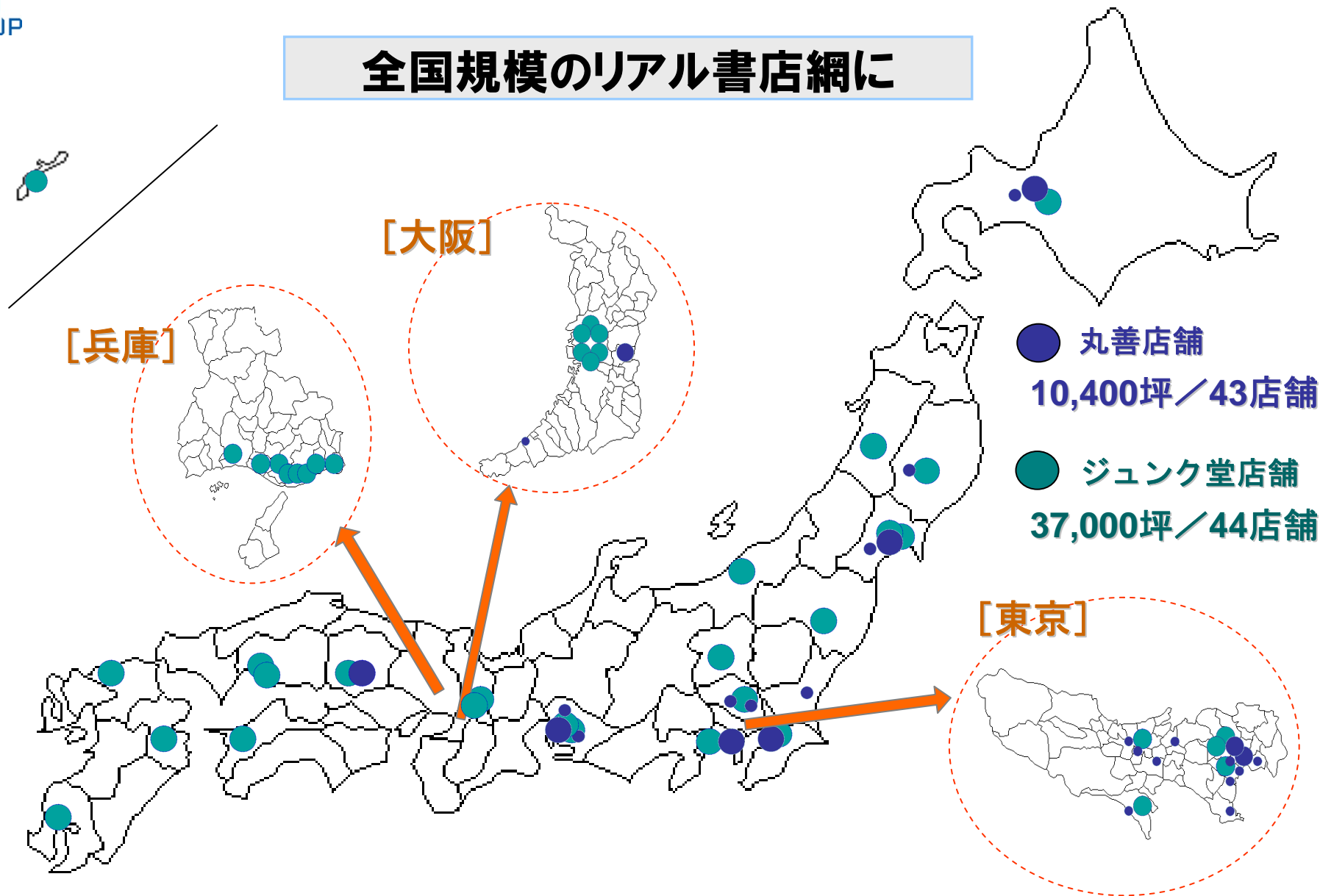


**ネット会員を全国で
リアル書店に誘致**

**競合のある市場でも
「面」で市場をおさえていく**

ジュンク堂との経営統合が実現した場合

全国規模のリアル書店網に



CHIグループの課題

書店発の改革実行のための
規模拡大

ハイブリッド型書店を最大限に活かす
全国規模のリアル書店網構築

これらを実現するための
ITインフラの構築

CHIグループの課題

リアル書店の収益改善

電子書籍への取り組み

ジュンク堂との経営統合の必要性

リアル書店の収益改善

電子書籍への取り組み

戦略実行にはジュンク堂との
経営統合が必要と判断

単独で展開した場合の
時間的制約

ジュンク堂が有する経営
リソース

本日の議案のご説明

議案のご説明

【議案】

当社と株式会社ジュンク堂書店との
株式交換契約承認の件

CHIグループ
株式会社



株式交換
契約

株式会社
ジュンク堂書店

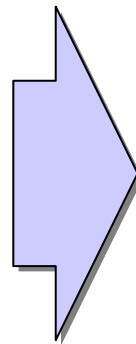
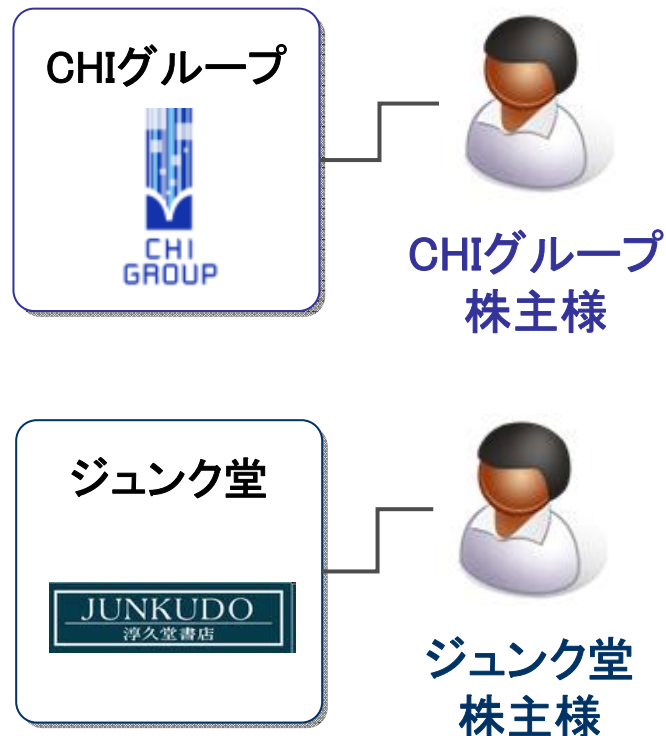


経営統合へ

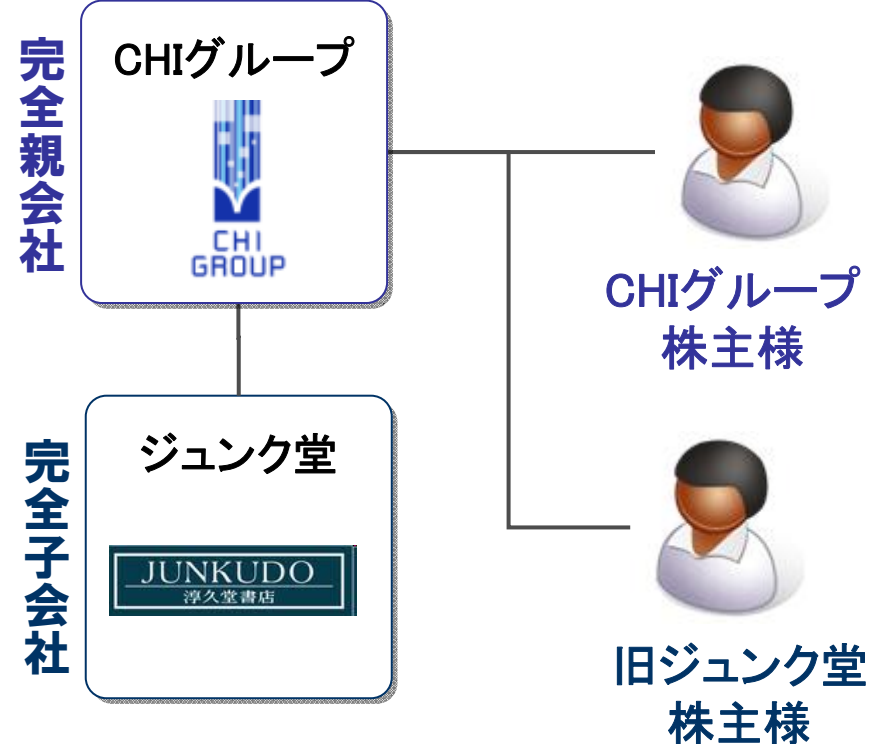
議案のご説明 : 株式交換の概要

ジュンク堂株主様が保有するジュンク堂株式をCHIグループ株式と交換することにより、ジュンク堂をCHIグループの100%子会社化

【株式交換前】

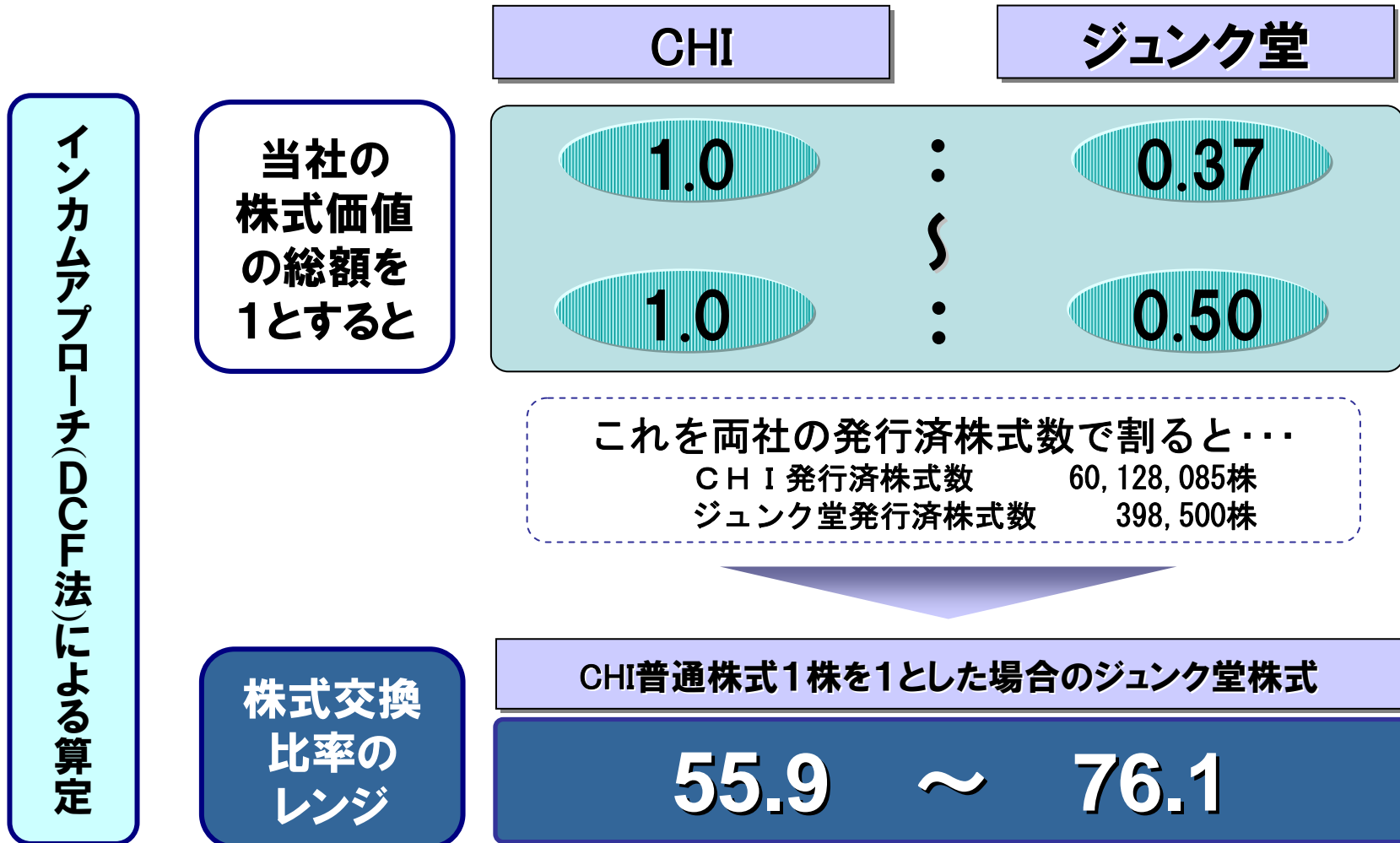


【株式交換後】



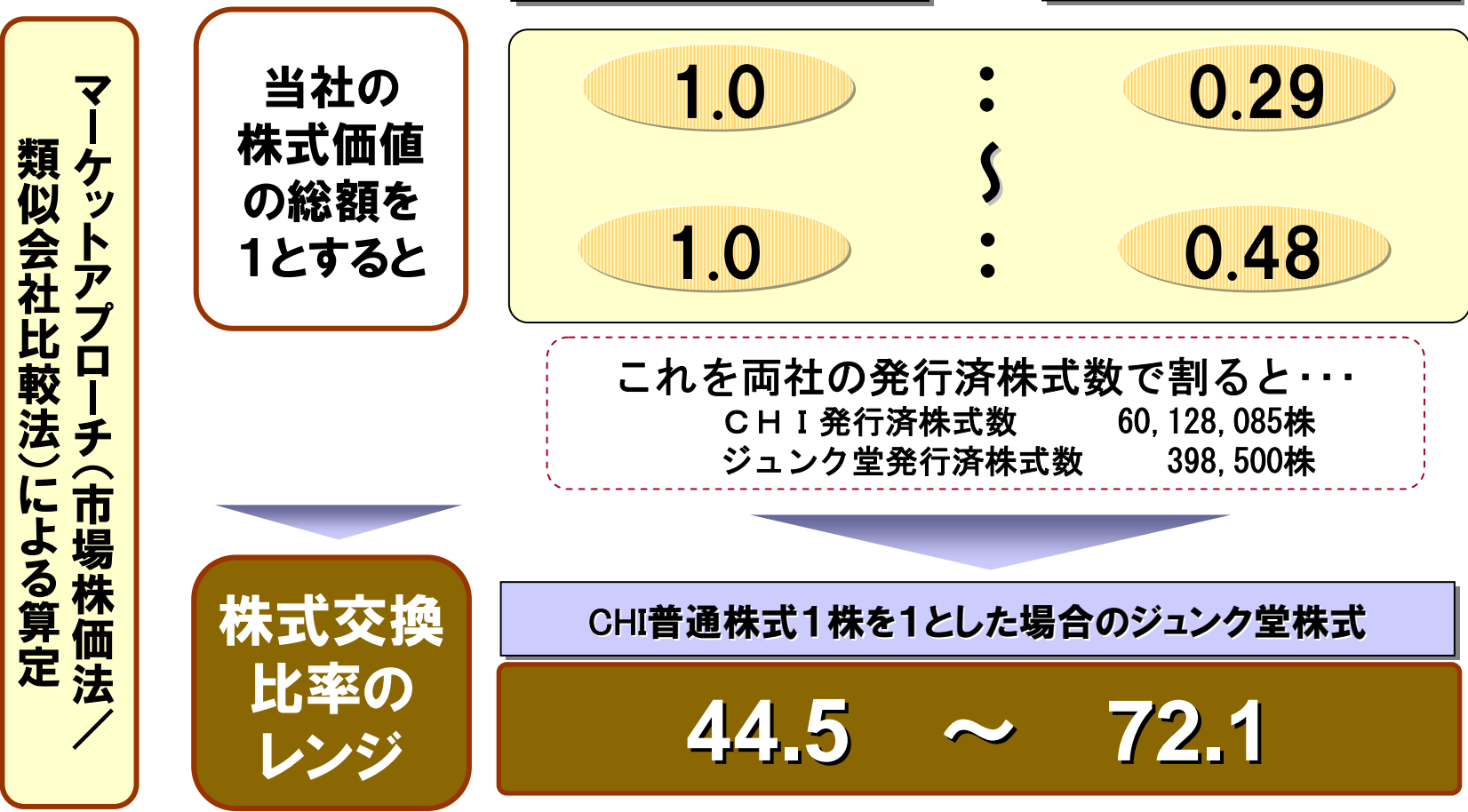
議案のご説明 : 株式交換の概要

- 第三者機関により、CHI、ジュンク堂の株式価値の比率を将来収益予想をもとに算定(インカムアプローチ<DCF法>)



議案のご説明 : 株式交換の概要

- 同じく第三者機関により、市場株価や、類似会社との比較によりCHI、ジュンク堂の株式価値を算定(マーケットアプローチ<市場株価法/類似会社比較法>)



議案のご説明 : 株式交換比率について

インカムアプローチ及びマーケットアプローチによる算定評価に基づき、CHI、ジュンク堂で協議の結果、株式交換比率を1:66とすることといたしました。

第三者機関算定の株式交換比率のレンジ

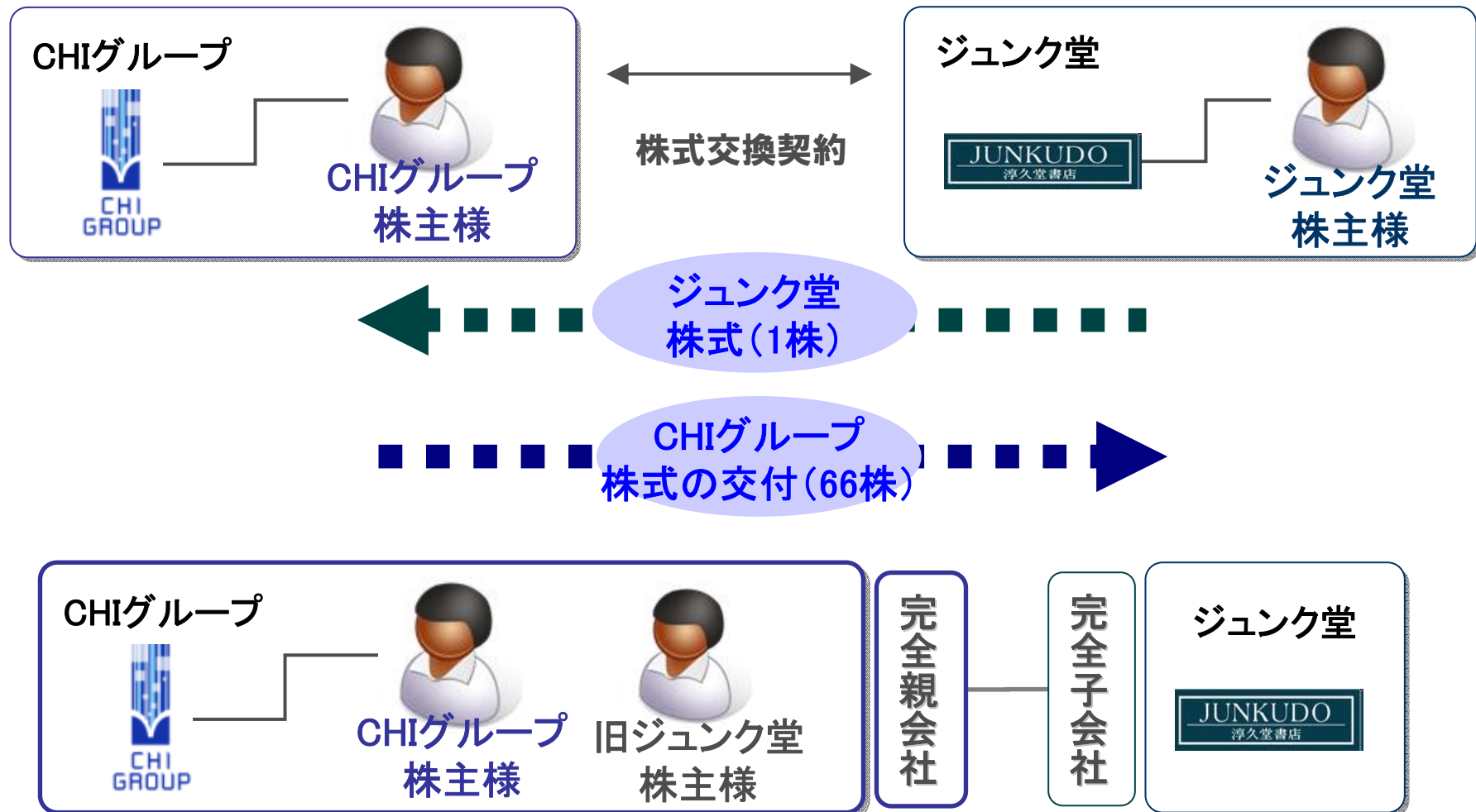
インカムアプローチ (DCF法)	55.9 ~ 76.1
マーケットアプローチ (市場株価法／類似会社比較法)	44.5 ~ 72.1

協議により決定した
株式交換比率

66.0

議案のご説明 : 株式交換に係る割当内容

ジュンク堂株主様に対し、ジュンク堂株式1株につき、CHIグループ株式を**66株**を割当交付



議案のご説明 : 統合後のグループ体制

- 本議案に承認を頂きますと、2011年2月1日には簡易株式交換により経営統合する予定の株式会社雄松堂書店を含め、当社は5事業会社の体制になります。
- あわせて、グループ内再編も積極的に実施し、経営リソースの有効活用を進めてまいります。





議案のご説明 : 今後のスケジュール

【今後のスケジュール】

2010年11月17日 **臨時株主総会 (CHIおよびジュンク堂)**

2011年2月1日 **株式交換効力発生日**